

総評

数学と理科を中心に、全体にやや難しめの出題となりました。

今回の試験は、1年から2年の夏休み前までに学習した内容から広く出題されました。休校の影響などもあり、中1の後半に学習した内容があいまいになっている人が多かったのではないのでしょうか。

入試や道コンのような試験は、試験範囲が広いことが特徴で、これまで習った内容のうちあいまいな箇所を見つけるには最適のツールです。受験後の問題用紙は捨てずに、間違えた問題を解説を読んで直し直してください。

2年生の夏休み以降は、勉強が急に難しくなる、差がつきやすくなるなどよく言われます。今回の結果が良かった人も油断せず、集中して学習に取り組み、入試に向けての良いスタートをきってください。

国語

やや難しい出題でした。

㊦は、漢字の書き「預ける」の得点率が低くなりました。「予」を「矛」と書かないように注意しましょう。㊦の問二と問三は会話の流れ(空欄の前後)にも注意しましょう。問三は指定形式のミスが目立ちました。設問をよく読み、書いた答えをよく見直して、惜しいミスをなくしましょう。㊦は、全体の得点率が特に低くなりました。問五は、傍線部直後の「西欧の学問分野の言葉を日本語に翻訳する時」と書いた答案が散見されました。「この時」が指す部分に注意して、読んでみましょう。問一の品詞の問題も得点率が低くなりました。教科書の品詞分類表を見て復習しましょう。㊦のような古文は主語が省略されていることが多いです。わからなかった人は、口語訳と対比させてもう一度読んでみましょう。

数学

①、②に得点率の低い問題がいくつかあり、平均点も低くなりました。

①はどれも重要な問題ですので、間違えた問題は必ず復習してください。素因数分解は中3の学習で必要になりますので復習しておきましょう。問7は、問題文の通りに比例式を作るところがポイントでした。

②の問1は、中1の最後の単元のため、休校と重なって十分に学習できていない人もいたかも知れません。近年の入試で必ず出題される重要な単元ですので、実戦的な問題に挑戦し、対応できるようにしておきましょう。

④の関数の問題は、式に代入して座標を求めたり、座標から関数の式を求めたりする問題に慣れましょう。

⑤問1、切り取った立体の体積の求め方が重要でした。難しくありませんので必ず復習しましょう。

社会

ほぼ標準的な出題でした。

地理分野では、①問6の時差の問題、②問8や⑤問5などの資料を用いた問題で得点率が低くなりました。地理では資源や農産物、貿易のグラフに関する資料がよく出題されるので、ポイントとなる国や県をもとにして何の資料なのか判別できるようにしておきましょう。

歴史分野では、⑨問7(1)の年代並べかえ問題など、歴史の流れやその時代のできごとなどに関する問題の得点率が低くなりました。歴史では、年代に関する問題を苦手とする人が多いので、語句を答えるだけでなく、年表などを利用して、大まかな歴史の流れをつかむようにしましょう。

理科

やや難しい出題でした。

1年分野では、②の植物と、④の音がややできていましたが、①の水溶液と、③の地震は、応用的な問題が出題されていたこともあり、一部の問題の得点率が非常に低くなりました。忘れていたこともあると思いますが、これからは1年分野を学習し直す機会は多くありません。今回の模試などを利用して、間違えたところや、よく理解できていないところを復習しておきましょう。

2年分野の⑤~⑧は、問題によって得点率の差が大きくなったようです。学習した直後ということもあり、身につけていなかったことも多かったかもしれません。今のうちに、教科書などを読み直して知識を定着させるとともに、演習を繰り返し行ってこれまでの学習内容を確実に身に付けて、今後の学習に備えましょう。

英語

得点率が30%を下回る問いが多く見られ、全体として難しめの出題となりました。リスニング問題もふくめて、間違えた問題を確認しておきましょう。

②問1は、A・Bともそれほど難しい出題ではありませんでした。正答を書けなかった人が多かったようです。動詞の過去形は重要なので、しっかり復習しておきましょう。

②問2②でも得点率が低くなりました。Can you ~? は中1で習う頻出の表現です。Sureなどの答え方とともに、しっかり覚えておきましょう。

③問2も正しく書けなかった人が多かったようです。これから学習が進むにつれ、1つ1つの文が長くなっていきます。1文の中の主語と動詞を正確に見極める練習をしていきましょう。